

2017年度国際保健医療における「UHCと保健人材開発」専門コース

募集要項

2018年2月

1. 背景

NCGM（国立研究開発法人国立国際医療研究センター）国際医療協力局は「国際医療協力」「国際保健協力」分野における日本の貢献への期待に応えていくために、それぞれの与えられた立場・職責の範囲において貢献できる、広い視野を持ったグローバルに活躍できる保健医療人材の育成を行っており、様々な日本人対象研修を実施してきたところであります。

昨年度は国際保健医療における「医療の質」専門コースを実施しました。昨今のグローバル・ヘルスの潮流として、先進国・途上国を問わずユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を含む持続可能な開発目標（SDGs）の達成が重要なテーマとなっております。ヘルスに関するSDG3のターゲットの一つは、「保健従事者の採用、能力開発・訓練、および定着を大幅に拡大させる」としており、保健人材開発はUHCおよびSDGs達成に向けて重要テーマの一つと認識されております。

2. 講座概要

本講座では、「UHCと保健人材開発」をテーマに開講する。UHC推進とともに増加する保健医療サービスの需要に対応するためには、保健医療人材をスケールアップする必要があります。「スケールアップ」とは、人材の数を増やすだけでなく、同時にサービスの質を担保するシステムを構築することが重要であります。保健人材を養成し、適切に配置、定着させていくことはUHCを実現する鍵の一つと考えられ、これを改善課題とする国際医療協力も実施されております。しかし国際協力の現場では、保健人材開発の政策や戦略を策定する上で不可欠な人材関連データの欠如など、様々な困難に直面します。

本講座では国際保健医療協力で「保健人材開発」に取り組む際の考え方を紹介いたします。

- 3. 到達目標** : (1) 受講生はUHCの概念を理解した上で、開発途上国における保健人材開発に取り組む際の考え方を学ぶ
 (2) 学んだ考え方を自身の取り組むプロジェクトに応用できるようになる
 (3) 保健人材開発に取り組む国際協力の事例を知り、協力活動の進め方について考察できる

- 4. 研修日時** 平成30年3月3日（土）9：00～17：00

- 5. 研修場所** : 国立研究開発法人国立国際医療研究センター
 国際医療協力研修センター3階
 東京都新宿区戸山1-21-1

6. 研修内容

	講義・演習内容タイトル
1	開校式
2	UHC と保健人材開発の世界的潮流
3	保健人材開発とハウスモデル
4	国際協力における保健人材開発の介入策とは (グループワーク)
5	国際協力における保健人材開発の介入策とは (グループワーク)
6	事例紹介、まとめ
7	修了式

研修は日本語で実施。資料は日本語および英語で行います。

7. 募集人員 20名

8. 受講費

一般 10,000円(税込)
学生 3,000円(税込)

9. 参加資格

「ア」 国際保健、国際協力に関する業務、研究、教育に携わった事のある者が望ましい

「イ」 年齢が20歳以上である事

「ウ」 上記「ア」～「イ」の条件を満たし、講座全科目に参加可能な者

10. 修了証書の授与

全科目修了者へ修了証書を授与します。

11. 参加手続

NCGM国際医療協力局HPより申込用紙をダウンロードし、ご記入の上
下記アドレスへ添付にてご送付によりお申込みください。

e-mail : kensyuka@it.ncgm.go.jp

応募期限 平成30年2月26日(月)

12. 受講者の決定

先着順として、定員に達し次第募集を終了します。

13. 研修実施事務局

国立研究開発法人国立国際医療研究センター国際医療協力局研修課 専門コース事務担当

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1

TEL (代表) 03-3202-7181 (内線) 2742

e-mail : kensyuka@it.ncgm.go.jp